

経営健全化計画の令和4年度実施状況

(沖縄県伊平屋村)
(船舶運航事業特別会計)

第1 計画と具体的な措置の状況

1 利用者増に向けた取組

観光協会や商工会等関係機関と連携し、伊平屋てるしのフェスティバル等のイベントを開催した他、民泊の受入体制を強化するため、民泊事業者を対象とした講演会に協力し、修学旅行生を17校、2,071名受け入れた。これらの取組により、令和4年度の観光客等の船舶利用者は19,300名となり、営業収益は前年度比38.5%増となる266,412千円となった。

2 運航回数の調整による費用の抑制

令和5年度からの実施に向け、運行回数の変更に係る必要な手続き等について、情報収集を行うとともに、変更に伴う課題の洗い出しを行うなど検討を開始した。

3 契約方法の検討等による費用の低減

燃料費については、近隣の類似団体の契約方法及び燃料単価の情報収集を行った。修繕費については、経年劣化により年々修繕箇所が増加してきているが、複数者から見積書を徴収するなど費用の低減に努めた。

4 一般会計からの繰入金の確保

住民への運賃割引等に対する各種補助事業等に係る一般会計からの繰入金は、令和3年度を上回る146,342千円を繰入れ、引き続き確保した。

第2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (令和4年度)	計画2年度 (令和5年度)	計画3年度 (令和6年度)
当初計画 A		25,530	9,502	22,519
解消実績額 B		34,739	—	—
現在計画 C		—	9,502	22,519
B-A又はC-A		9,209	0	0
資金不足額	102,555	67,816	58,314	35,795

第3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (令和4年度)		計画2年度 (令和5年度)		計画3年度 (令和6年度)	備考
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	
資金不足比率	53.3	29.1	25.4	23.8		15.9	イベント実施等による利用者の増により料金収入は増えたが、燃料費等の費用は増加したため、解消には至ってはいないものの、資金不足比率は大幅に改善した。

第4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- (1) 観光客等の利便性向上の観点から、フェリー運賃の支払いに、キャッシュレス決済を導入するため、琉球銀行と調整を行った。また、令和4年7月に、伊平屋村、伊平屋村商工会、琉球銀行の間で、「伊平屋村キャッシュレス推進に関する連携協定」を締結し、村内の店舗におけるキャッシュレス決済の普及促進を図った。
- (2) 燃料費や検査費用は、上昇傾向にあるが、運賃改定については、引き続き状況を注視しながら検討する。